

【ノロウイルス感染症発生の防止】

ノロウイルスは手指や食品などを介して、経口で感染し、ヒトの腸管で増殖し、おう吐、下痢、腹痛などを起こします。健康な方は軽症で回復しますが、子どもや高齢者などでは重症化したり、合併症により死亡することがあります。高齢者が集団で生活している施設においてノロウイルスが発生した場合、感染者の吐ぶつや排泄物から二次感染や飛沫感染を予防し、まん延を防ぐことが重要です。

○患者の排泄物や吐ぶつには大量のウイルスが排出されるので、

- ①食事の前やトイレの後などには、必ず流水で手を洗いましょう。
- ②下痢やおう吐等の症状がある方は、施設へ申し出る、医療機関を受診する等心掛けて下さい。
- ③胃腸炎患者に接する方は、患者の排泄物や吐ぶつを適切に処理し、感染を広げないようにしましょう。
- ④常に自分自身の健康管理を行って下さい。

手洗い・うがい・マスクの着用。

- ⑤ドアノブ・手すり・床などはいつもきれいに拭いて下さい。

次亜塩素酸ナトリウム（塩素系の漂白ハイター、ブリーチ）

◎市販の漂白剤

（塩素濃度5%）の場合 0.02%

- (250倍) ①500mlのペットボトル1本
(ペットボトルのキャップ半杯)
- ②5ℓの水に20ml
(漂白剤のキャップ1杯)